第７班

１．タイトル：持続可能な公共交通システムづくり

２．報告書の概要：30～50 万人程度の人口規模を持つ、中核市の市街地および住宅地などの周辺地域における公共交通システムについて、バスを中心にした研究。名古屋市および岐阜市の事例により、バスを利用した高速大量輸送の実現が可能。今後実施すべき公共交通網の整備について、４つのシナリオおよび導入コストの検証を行い、既存インフラを活用したバス利用の促進を図ることが現実的。目標(1)人口減少や超高齢社会に対応した都市部のおける持続可能な公共交通システムの構築(2)大量輸送、定時制を確保した都市交通システムの構築が必要。(3)2030 年までに持続可能な公共交通システムの構築。目標実現のための主な施策(1)運行形態の見直しによる利便性の向上(2)連節バスの導入による大量輸送の実現①バス運行頻度の確保②バス路線の機能分担による効率的な運行(3)バス専用レーン設置による定時制の確保

３．引用している事例：
①名古屋市②岐阜乗合自動車株式会社

４．アンケート調査の有無　：　無